⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　―千円

1,083,329千円

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　70,508,178千円

２．重要な非資金取引

現物寄附による資産の取得　4,099,064千円

Ⅴ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の概要　（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額	備考
課外活動施設	土地	白馬山の家（敷地） 長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙	2,000	前事業年度以前認識済
教育研究施設	土地	紀伊大島実験所（敷地） 和歌山県東牟婁郡串本町須江	6,980	
教育研究施設	土地	地震予知研究センター徳島観測所（敷地） 徳島県名西郡石井町石井	13,000	
教育研究施設	土地	火山研究センター内牧分所（敷地） 熊本県阿蘇市内牧字中町	9,090	
福利厚生施設	建物	熊野職員宿舎 京都府京都市左京区川端通丸太町下ル東入東竹屋町	2,601	
課外活動施設	構築物	仮設アーチェリー場 京都府京都市左京区吉田下阿達町	30,138	
駐輪場	構築物	薬学部自転車置き場 京都府京都市左京区吉田下阿達町	1,223	
展示物	収蔵品	附属地震予知研究センター阿武山観測所 大阪府高槻市奈佐原	156	

⑵　減損の認識に至った経緯

白馬山の家の土地については、前事業年度以前に使用しない決定を行ったため、その他の土地については、市場価格が著しく低下し、市場価格の回復の見込みが認められないため、その他の資産については、老朽化または改修工事等により当該年度に除却するにあたり、使用しない決定を行ったため、それぞれ減損を認識しております。

⑶　減損額のうち主要な固定資産ごとの内訳　（単位：千円）

場所	種類	損益計算書に計上した減損額	損益計算書に計上していない減損額
白馬山の家（敷地）	土地	―	180
紀伊大島実験所（敷地）	土地	―	3,559
地震予知研究センター徳島観測所（敷地）	土地	―	6,630
火山研究センター内牧分所(敷地)	土地	―	5,090
熊野職員宿舎	建物	―	2,601
仮設アーチェリー場	構築物	3,460	26,677
薬学部自転車置き場	構築物	―	1,223
附属地震予知研究センター阿武山観測所	収蔵品	―	155

⑷　回収可能サービス価額の算定方法

土地については、正味売却価額が使用価値相当額より高いため、正味売却価額を採用しております。

土地以外の資産については、使用価値相当額が正味売却価額より高いため、使用価値相当額を採用しております。

なお、使用価値相当額については、当該資産の帳簿価額に、当該資産につき使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出した価額を用いております。

２．翌事業年度の特定の日以降使用しない決定を行った固定資産

⑴　翌事業年度の特定の日以降使用しない決定を行った固定資産の概要

用途	種類	場所	使用しなくなる日
福利厚生施設	土地	桂職員宿舎（敷地） 京都府京都市西京区下津林六反田	平成28年４月
福利厚生施設	建物	桂職員宿舎 京都府京都市西京区下津林六反田	平成28年４月
福利厚生施設	構築物	桂職員宿舎 京都府京都市西京区下津林六反田	平成28年４月
福利厚生施設	土地	香里職員宿舎（敷地） 大阪府枚方市香里ヶ丘	平成28年４月
福利厚生施設	建物	香里職員宿舎 大阪府枚方市香里ヶ丘	平成28年４月
福利厚生施設	構築物	香里職員宿舎 大阪府枚方市香里ヶ丘	平成28年４月